



学 会 通 信

第 87 号

2018 年 7 月 23 日発行

目次

ICoME2018 のご案内【最終報】	2
第 25 回年次大会にあたってのご挨拶	4
第 25 回年次大会のご案内【第 2 報】	5
2017 年度企画委員会第 2 回ワークショップ報告	9
論文投稿のご案内	10
学会費納入のお願い, 入会者・退会者	10

ICoME2018のご案内【最終報】

The International Conference for Media in Education(ICoME) 2018のご案内

CHUNGBUK NATIONAL UNIVERSITY(忠北大学校)で行われる第16回のThe International Conference for Media in Education(ICoME)

2018について最終のご案内をさせていただきます。

★日時：2018年8月15日(水)～18日(土)

★場所：CHUNGBUK NATIONAL UNIVERSITY(忠北大学校), Cheongju, 韓国

★ウェブ：<https://www.icome.media/>

★発表形態：Concurrent Presentation, Roundtable, Student poster, Media festival

※詳細はウェブページをご覧ください。<http://www.icome.media>

★連絡先はこちらです。Email: icome.submit@gmail.com

※上記の連絡先をご利用の際は、*マークを@に変えてください。

★Chair of Organizing Committee (ICoME2018の主催者)

Dr. Jeeheon Ryu (jeeheon@jnu.ac.kr) Chonnam National University, South Korea)

※上記の連絡先をご利用の際は、*マークを@に変えてください。

★Keynote Speaker (特別講演)

Dr. Michael H. Molenda, Indiana University

★参加登録：下記のURLから参加登録をしてください。

<https://www.icome.media/registration-fee>

★参加費(当日参加)

本学会員 120,000 ウォン(約12,000円)、学生 50,000 ウォン(約5,000円)

※7月14日(early registration)までのオンラインでの事前支払いの場合

一般 100,000 ウォン(約10,000円)、学生 30,000 ウォン(約3,000円)

※Registration後、ICoMEからPaypalでの支払いの案内がメールにて届きます。

※また、学生に関しましては学会運営ボランティアにもお申し込みいただけます。

★論文フォーマット：下記のページからファイルをダウンロードしてください。

<https://www.icome.media/presentation-categories>

★原稿締め切り：2018年7月21日(土)

★宿泊：大学のドミトリーを利用できます。会場から徒歩五分の場所にあります。

下記のURLから登録してください。

<https://www.icome.media/reservation>

<Single guest>

1 night: 39.00 USD (39,000 KRW)

2 nights: 68.00 USD (68,000 KRW)

3 nights: 97.00 USD (97,000 KRW)

4 nights: 126.00 USD (126,000 KRW)

<Two guests>

1 night: 68.00 USD (68,000 KRW)

2 nights: 116.00 USD (116,000 KRW)

3 nights: 164.00 USD (164,000 KRW)

4 nights: 212.00 USD (212,000 KRW)

※こちらにつきましても、登録後、paypal での支払いについてメールにてご案内があります。

みなさまのご参加を心からお待ちしております。

2018 年度日本教育メディア学会第 25 回年次大会にあたってのご挨拶

大会実行委員長 山本朋弘（鹿児島大学）

2018 年 11 月 24 日（土）、25 日（日）の 2 日間にわたり、第 25 回日本教育メディア学会年次大会を、鹿児島市にある鹿児島大学教育学部にて開催いたします。鹿児島県は、九州では一番面積の広い県で、北は長島町から南は与論町まで南北約 600 キロメートルの距離にあります。この距離は、鹿児島市から大阪市の直線距離とほぼ同じです。広大な県土の中で、「南北 600 キロの教育」として、離島へき地での小規模校教育、複式指導やテレビ会議を用いた交流学习など、特色ある教育が展開されています。

今年は、明治維新 150 周年という歴史的な節目の年にあたり、大河ドラマ「西郷どん」の放送など、県全体が「維新の故郷鹿児島」として盛り上がっています。記念イベントも開催されていて混雑しているかもしれませんが、「桜島」や「故郷維新館」など、魅力ある観光を満喫してお帰りいただきたいと思えます。

24 日午前は、附属小学校の公開授業を見ていただきます。低学年算数の ICT を活用した授業を参観いただく予定です。24 日午後及び 25 日は、教育学部の第 1 講義棟及び第 2 講義棟で開催いたします。行き届かない点もあるかと思いますが、実行委員会スタッフ一同、皆様に楽しんでいただけるような大会にしていきたいと考えております。たくさんの方の参加をお待ちしています。

2018年度日本教育メディア学会第25回年次大会のご案内【第2報】

年次大会委員会 委員長：中川一史（放送大） 副委員長：中橋雄（武蔵大）、山本朋弘（鹿児島大：開催地）
大会実行委員会 委員長：山本朋弘（鹿児島大）、副委員長：辻慎一郎（薩摩川内中央中）

1. 日時と場所

2018年11月24日（土）、25日（日）

鹿児島大学教育学部 第1講義棟・第2講義棟

2. 大会プログラム

11月24日（土）会場：鹿児島大学教育学部

9:30～ 受付

10:00～11:30 地元企画：公開授業と振り返り

授業者：伊藤優一郎（鹿児島大学教育学部附属小学校）

小学校2年算数 単元未定

司会：中川一史（放送大学）

コメンテータ：佐藤幸江（金沢星稜大学）

11:30～12:30 昼食

12:30～13:20 総会

13:30～15:30 一般研究発表（1件あたり30分発表）※質疑と交代を含む

15:45～17:00 鼎談『教育メディアのこれまでと展望』（仮）

登壇者：堀田博史（園田学園女子大学）、黒上晴夫（関西大学）、
宇治橋祐之（NHK放送文化研究所）

17:30～19:30 懇親会（教育学部食堂エデュカを予定）

11月25日（日）会場：鹿児島大学教育学部

9:30～11:30 課題研究発表

11:30～12:30 昼食

12:30～14:30 一般研究発表（1件あたり30分発表）※質疑と交代を含む

15:00～16:20 シンポジウム『新学習指導要領における教育の情報化の展開』（仮）

登壇者：安彦広斉（文部科学省）、稲垣忠（東北学院大学）、
鹿児島県内の教育委員会担当者、鹿児島県内の小中高教員

コーディネータ：山本朋弘（鹿児島大学）

3. 課題研究プログラム

課題研究1 「情報活用能力の育成に資するメディアを活用した教育実践」

コーディネータ：前田康裕（熊本大学）、小林祐紀（茨城大学）

概要：新学習指導要領において、情報活用能力が言語能力と同じく「学習の基盤となる資質・能力」と示され、各教科を横断する形で重要な能力であることが明記された。また、小学校ではプログラミング教育の必修化がされ、小学校学習指導要領の総則への記述が確認できることから、様々な学年・教科等での教育実践が求められている。情報活用能力の育成に資する教育実践の重要性は、ますます高まっている。そこで本課題研究では、情報活用能力の育成に資するメディアを活用した教育実践に関する発表を広く募集する。小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学等の教育実践に関わる者が交流し、幅広い視点からテーマについて議論できることを期待する。なお本課題研究では、メディアはICTだけではなく、幅広い概念として用いることとする。

課題研究2「教員養成、教員研修での教育メディア研究の今～知見の蓄積に向けた体制整備を考える～」

コーディネータ：小柳和喜雄（奈良教育大学）、寺嶋浩介（大阪教育大学）

概要：これまでも教育メディアを活用した取組を通じて、未来の創り手となるために必要な資質・能力、例えば学習の基盤としての情報活用能力、メディア・リテラシーなどを育成しようとする様々な取組が、教員養成、教員研修で行われてきた。しかしながら、その取組をどのように整理し、共有できる知見として表現していくかに関わって、伝統的な研究手法による手続きが壁となり、貴重な研究成果が表に出ない場合もあった。本課題研究では、教員養成・教員研修の現場で、教育メディアを内容としてとらえ教える工夫、教育メディアを方法・道具としてとらえ、それをを用いて教える工夫などについて、その持ち味を活かした研究知見を表現し、蓄積していく上で、何が壁か、何が必要となるのかを論議していく。

課題研究3「最先端のメディア研究」

コーディネータ：青木浩幸（国際基督教大学）、工藤雅之（藤女子大学）

概要：最先端技術の登場や新たなトピックの創造により、教育におけるメディア利用は発展を遂げてきた。近年関心を集める最先端技術には、プログラミング的思考、VR/AR、ゲーミフィケーション、AIとロボット、ビッグデータ、MOOCsやOER等が挙げられる。これらの教育における意味を理解し実用化を図るには、新たな観点や柔軟な発想が必要である。本課題研究ではそのような実用化の壁を破るきっかけを得られるような議論を行いたい。未完成であっても構わない。最先端のメディア利用に関する斬新な研究アイデアを募集する。

課題研究4「次期学習指導要領におけるメディア・リテラシー教育」

コーディネータ：後藤康志（新潟大学）、佐藤和紀（常葉大学）

概要：初等・中等教育において2020年以降順次全面实施される次期学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」を実現させることが目指されている。社会と向き合い関わり合うためには、意図をもって構成されるメディアの特性を踏まえて、そのあり方を考える学習活動が不可欠となる。近年、ポスト・トゥールース時代と言われるように、社会とメディアを取り巻く状況が、複雑さを増している中で、メディア・リテラシー教育に関する実践・研究もひとつの転換期を迎えているといえる。そのあり

方について議論することには、意義がある。こうした課題に対する研究発表を会員から募り、議論を深めたい。

4. 大会までのスケジュール

- ・課題研究プロポーザル（要旨）の申し込み期間
2018年 6月 18日（月）～ 7月 16日（月）（終了しました）
採否通知は8月上旬頃におこなう予定。
- ・課題研究原稿提出締切 2018年 9月 30日（日）
- ・一般研究募集
原稿提出期間 2018年 8月 15日（水）～9月 30日（日）

5. 参加申し込み

- ・参加申し込みは、昨年通り、以下の通りとします。
会員 3000円（事前）、4000円（当日）
学生会員 1000円（事前）、2000円（当日）
非会員 4000円（事前）、5000円（当日） ※ただし、非会員の現職教員は無料
学生非会員 2000円（事前）、3000円（当日）
懇親会 5000円（学生 3000円）
- ・懇親会会場の準備の都合上、事前の参加申し込みと入金をお願いします。
なお、懇親会参加費は事前・当日ともに同じ料金です。

※本大会においては、非会員の現職教員の場合、参加を無料と致します。できるだけ多くの参加者にご参加いただき、学会の認知や入会を促す意図がありますので、ご了承願います。

<事前参加申し込みに関わる送金先>

.....

銀行名：セブン銀行

店名：マーガレット支店

種目：普通

店番号：101

口座番号：0404285

名義：山本朋弘（ヤマモトトモヒロ）

.....

※振込手数料は、ご負担ください。

※ご自身の口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。

それが出来ない場合は振込後、tyamamot@edu.kagoshima-u.ac.jp にメールでご連絡ください。

大学事務局を通じた大学名による振込は、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。

- ・発表者は、参加費とは別に年会費を納めている必要があります。

会費に関する規定は、以下をご覧ください。

<http://jaems.jp/about/kitei/kaihi.html>

- ・参加者のうち学会員は、本年度の会費をできるだけ事前にお支払いください。

当日お支払いいただくこともできますが、事務局の運営にご協力ください。

なお、入金口座は、「事前参加申し込みに関わる送金先」と異なり、以下となります。

銀行名：ゆうちょ銀行

種目：普通

店番：418

店名：四一八店（ヨソイチハチ店）

口座番号：0865850

名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）

6. その他

- ・前回大会に引き続き本大会において、発表予稿集は刊行せず、会員の皆様に PDF ファイルの形での配布となります。事前にメールにてダウンロード先の URL をお送りします。ご自身の端末等を持参するか、事前に学会の Web からプログラムを印刷してきてください。
- ・年次大会開催日に、他学会の全国大会が予定されています。したがって鹿児島市内のホテル等を予約するのが難しい状況です。ご迷惑をおかけします。早めの予約をお願いいたします。
- ・年次大会に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

第25回年次大会事務局

鹿児島大学大学院教育学研究科 山本研究室

電話:099-285-7736 メールアドレス tyamamot@edu.kagoshima-u.ac.jp

2017 年度企画委員会第 2 回ワークショップ報告

テーマ「今だからこそ、日本の英語教育を考える！」

企画担当：村川 弘城（日本福祉大学）

2018 年 1 月 28 日(日)、企画委員会企画ワークショップがパナソニックセンター会議室にて開催されました。大学の教員、学生、小中学校の教員、教育関係者を合わせ、22 名の参加がありました。今回のワークショップは、「今だからこそ、日本の英語教育を考える！」をテーマに開催されました。2011 年より小学校において「外国語活動」が全面実施され、様々な課題を抱えながらも、全国の学校で実施されています。そんな中、2020 年からは教科としての「英語」が実施され、2018 年度からは段階的な実施が計画されています。もちろんその計画内では、ICT やメディアとの関わり方についても検討していく必要があります。小学校の教科英語元年に向けた準備期間である今だからこそ、これからの日本の英語教育について一緒に議論するため、本ワークショップのテーマが設定されました。



本ワークショップは、[話題提供]と[グループディスカッション]の 2 部構成で実施されました。前半の[話題提供]では、国の政策、特区の現状と課題、小中接続のそれぞれに造詣の深い方を講師として呼び出し、それぞれの立場からこれからの日本の英語教育について報告していただきました。

後半の[グループディスカッション]では、話題提供の際にお話しいただいた講師の先生方をリーダーとしたグループを作成し、その中でより深い議論を行っていただきました。その後、グループ内でお話しいただいたことを全体に向けて発表していただき、共有しました。



話題提供で 3 つの立場からお話し頂き、その内容を軸にグループワークで議論が行われました。結果的に、教科書の問題、補助教材の活用、「読む」「聞く」以外の「話す」「書く」の育成・測定方法、小学校で英語を学ぶことの意味など、多岐にわたった議論となりました。各グループからは、英語教育には、まだまだ課題も多く、本ワークショップの中で解決できなかったことも多いことが報告されていました。しかし、課題が多いことによる不安により、各話題提供者と参加者、参加者同士、各話題提供者同士のつながりが今回のワークショップの中でできたことは、大きな成果だと感じます。

本ワークショップにご参加いただき、盛り上げていただきました皆様に、改めて感謝いたします。ありがとうございました。

論文投稿のご案内

編集委員会（委員長／鈴木克明：熊本大学）

〆切：随時

『教育メディア研究』では、一般論文を広く募集しています。〆切は特にありません。随時受け付け、その都度、査読プロセスを始めています。多くの会員の方からの投稿を期待しています。

学会費納入のお願い、入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日）の年会費（正会員7,000円、学生会員4,000円）が未納の方は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、事務局までメールアドレス、お届け先住所の情報をお送りくださるよう、よろしくお願いいたします。

【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員 (1名)・・・赤崎公彦

新入会員・学生会員 (1名)・・・Mena Araya Aaron Eli

退会者 ・正会員 (3名)・・・太田 俊彦、塚本 美恵子、金城 尚美

会員種別変更 (2名)・・・渡邊 文枝、佐藤 和紀

再入会 (1名)・・・吉江 森男

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条の改正が承認されました。改正された規定では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。

会費の納入状況についてご不明な点がありましたら、事務局 (office@jaems.jp) までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

(1) 正会員、学生会員、団体会員ならびに購読会員が、会費を3年間滞納したとき、その年度末をもって除籍され、会員の資格を喪失する。

(2) 除籍された元会員が再入会するとき、滞納会費の納入を要する。

会員総数 349名・17団体

名誉会員：3名

正会員：310名

学生会員：36名

団体会員：6団体

購読会員：11団体

(平成30年7月13日現在)

日本教育メディア学会 事務局	広報委員会
〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88	委員長 後藤康志 (新潟大学)
大阪教育大学 寺嶋浩介 研究室内	副委員長 渡辺 雄貴 (東京工業大学)
E-mail : office@jaems.jp	委員 岩崎千晶 (関西大学)
学会ホームページ URL : http://jaems.jp/	井ノ上憲司 (大阪大学)
	遠海友紀 (京都外国語大学)